

## 第 146 回

日本輸血・細胞治療学会関東甲信越支部例会

## ご挨拶

ようこそ“彩の国さいたま”へお越し下さいました。私共の所属する埼玉医科大学国際医療センターは、がんと心臓病に対する高度専門医療、主として埼玉西部地区の外傷や脳血管疾患に対する高度救命救急医療を提供している大学病院です。曼珠沙華が咲き誇る埼玉南西部の日高市という風光明媚な町に2007年に開院し昨年10周年を迎えたばかりですが、血液製剤は年間約7万単位を消費し、埼玉県赤十字血液センターには開院当初から大変お世話になっています。本日の支部例会は東日本のハブ（交通の中心）である大宮で開催することにしたため、当センターのアーティスティックな建物と奥武蔵の初秋を彩る美しい山々のコントラストを皆様にご覧いただくことができず大変残念です。



近年、職種別臓器別の縦割り医療からチーム主体の横断的医療（チーム医療）へと医療形態が変化しつつあります。各職種の専門家が一丸となれば、安全で質の高い医療を患者さんに提供できることは言うまでもありません。当センターでも Joint Commission International (JCI) 認定取得を契機に職種間連携が強化され、team STEPPS、brief、huddle、two challenge rule、CUS といったコミュニケーションスキルの教育が定着してきました。輸血の領域では、輸血管理料の導入を契機に多くの医療施設で輸血管理部門の設置や専任医師、専従臨床検査技師が配置され、さらに臨床輸血看護師の誕生によって輸血チーム活動が急速に普及しました。昨年はチーム医療のガイドラインが作成され、今年5月の当学会総会ではチーム医療がテーマに取り上げられました。合同輸血療法委員会やI & Aなどの啓発活動でも、最近が多職種での活動が盛んになってきているようです。

今回の支部例会は、職種の壁を越え、施設の規模に拘りなく、輸血医療に従事される方が誰でも打ち解けられる会にしたいという思いから、『多職種の連携による輸血啓発活動』というテーマにしました。参加いただいた皆様がお互いの活動内容を報告し合い、多くの情報を共有し、新しい知識や発見を持ち帰り、明日からの医療に役立てられる、そんな1日になることを願っています。埼玉医科大学国際医療センター輸血・細胞移植部のスタッフ一同が丹精を込め、力を尽くして準備を進めてまいりましたので、どうぞ最後までご参加いただき、存分に盛り上げていただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年9月吉日

第146回日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会長  
埼玉医科大学国際医療センター 輸血・細胞移植部

石田 明

**【午前の部】** (9:20 ~ 11:40) (埼玉県産業文化センター6階会議室 602号)

看護師教育セミナー

9:20 ~ 10:35

教育講演

座長：石田 明 (埼玉医科大学国際医療センター輸血・細胞移植部)

講演 1. 輸血副作用の観察と治療における看護師の役割

田崎哲典 (東京慈恵医科大学附属病院輸血・細胞治療部)

講演 2. I & A活動と看護師の役割

田中朝志 (東京医科大学八王子医療センター臨床検査医学科・輸血部)

…… 休憩 10:35 ~ 10:40 ……

10:40~11:40

パネルディスカッション：輸血療法における看護師の役割について

パネリスト：田崎哲典 (東京慈恵医科大学附属病院輸血・細胞治療部)

パネリスト：田中朝志 (東京医科大学八王子医療センター輸血部)

パネリスト：今野マユミ (東京女子医大病院看護部、輸血・細胞プロセッシング部)

パネリスト：堀内香与 (信州大学医学部附属病院輸血部)

モデレーター：石田 明 (埼玉医科大学国際医療センター輸血・細胞移植部)

**【午後の部】** (12:50 ~ 18:10) (大宮ソニックシティ小ホール)

12:55 ~ 13:00

開会挨拶 例会長：石田 明 (埼玉医科大学国際医療センター輸血・細胞移植部)

13:00 ~ 14:30

I シンポジウム：関東甲信越支部における合同輸血療法委員会の活動

座長：池淵研二 (埼玉医科大学病院中央検査部、輸血・細胞移植部)

藤田 浩 (東京都立墨東病院輸血科)

1. 茨城県合同輸血療法委員会の活動報告  
大越 靖 (茨城県立中央病院輸血細胞治療部・筑波大学医学医療系・茨城県地域臨床教育センター)
2. 関東甲信越支部における合同輸血療法委員会の活動～群馬県より  
長岡 出 (済生会前橋病院検査科)
3. 長野県輸血療法部会の活動  
小松政義 他 (長野県献血推進協議会輸血療法部会諏訪赤十字病院)
4. 埼玉県合同輸血療法委員会 活動報告  
木村秀実 (埼玉協同病院看護部手術室看護科)
5. 新潟県合同輸血療法委員会の活動  
古俣 妙 (新潟県赤十字血液センター)

…… 休憩 14:30 ~ 14:40 ……

14:40 ~ 16:05

## II 一般演題

座長：横山明弘 (国立病院機構東京病院血液内科)

五十嵐靖浩 (慶應義塾大学病院輸血・細胞療法センター)

1. 輸血による急性 E 型肝炎を発症した多発性骨髄腫の一症例  
池田彩子 他 (防衛医科大学校病院輸血・血液浄化療法部)
2. 関東甲信越地方における訪問看護ステーションでの輸血実績調査  
松本律子 他 (東京都立墨東病院看護部看護科)
3. 2016 年我が国での大量出血・大量輸血時の凝固障害に対する使用製剤についての調査報告  
野呂光恵 他 (埼玉医科大学総合医療センター輸血部)
4. フローサイトメトリーによる CD34 陽性細胞数測定において非特異反応を示した症例  
山中万次郎 他 (信州大学医学部附属病院輸血部)
5. 当院における再生医療新法施行前後における取り扱い細胞ソースの変化  
藤本陽子 他 (新潟大学医歯学総合病院生命科学医療センター輸血・再生医療部門)
6. AmB 型 Le(a-b+)分泌型患者において唾液中 B 型物質を認めなかった 1 例  
藤村亮介 他 (慶應義塾大学病院輸血・細胞療法センター)

7. 反応時間短縮が A/B 型糖転移酵素活性に与える影響について  
奥谷美紅 他（東京大学医学部附属病院輸血部）
8. 当院手術室でのより効率的な輸血運用システムについて  
菅原未稀 他（獨協医科大学埼玉医療センター輸血部）
9. 輸血業務における電子カルテシステムの更新に伴う問題点  
朝倉信之介 他（JR 東京総合病院臨床検査科）

…… 休憩 16:05 ~ 16:20 ……

16:20 ~ 17:10

### Ⅲ ワークショップ：輸血Q&A in 埼玉

臨床検査技師：松本慎二（埼玉医科大学国際医療センター輸血・細胞移植部）

看護師：小林祥一（埼玉医科大学国際医療センター看護部）

埼玉県赤十字血液センター：松田充俊（埼玉県赤十字血液センター学術課）

モデレーター：石田 明（埼玉医科大学国際医療センター輸血・細胞移植部）

17:10 ~ 18:00

### Ⅳ 特別講演

座長：井関 徹（千葉大学医学部附属病院輸血・細胞治療部）

演題名：凝固異常値への対応と止血重視の輸血療法

演者：山本晃士（埼玉医科大学総合医療センター輸血細胞医療部）

18:00 ~ 18:05 優秀演題賞表彰

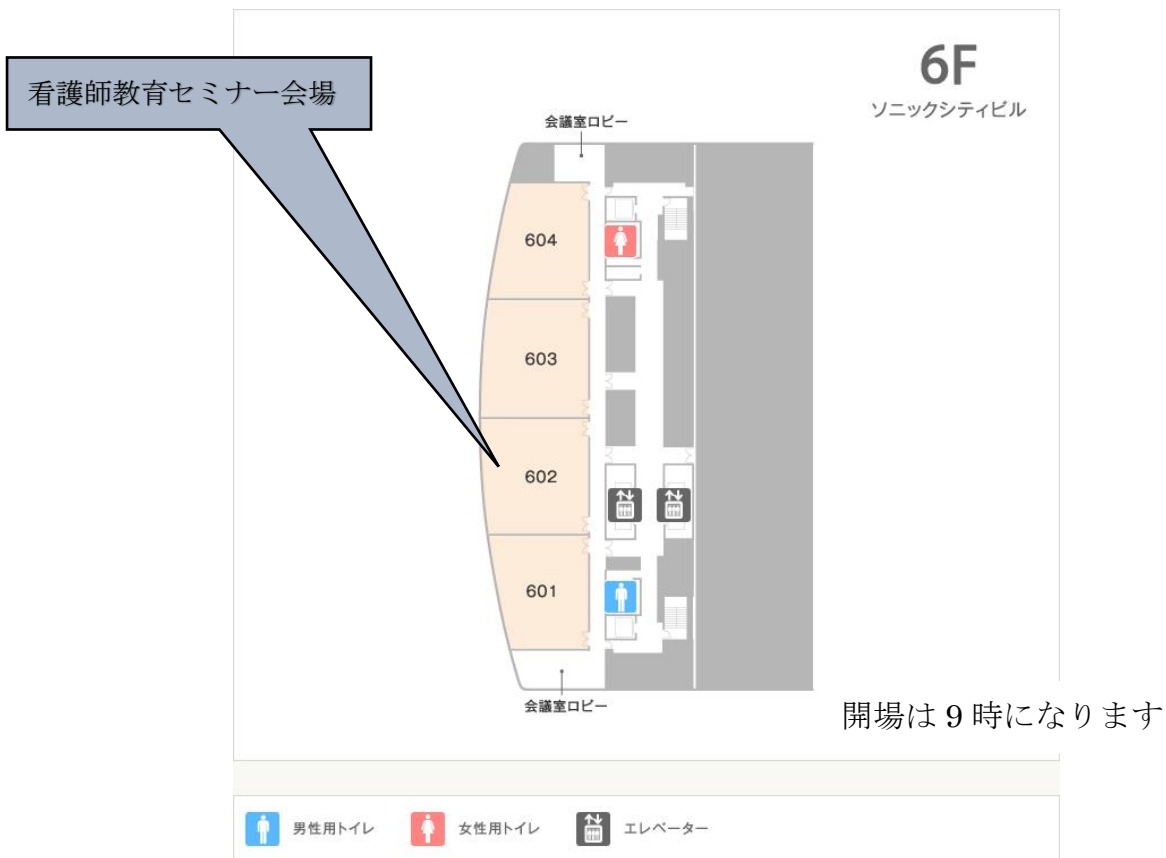
18:05 ~ 18:10 講評・閉会挨拶

支部長：岡崎 仁（東京大学医学部附属病院輸血部）

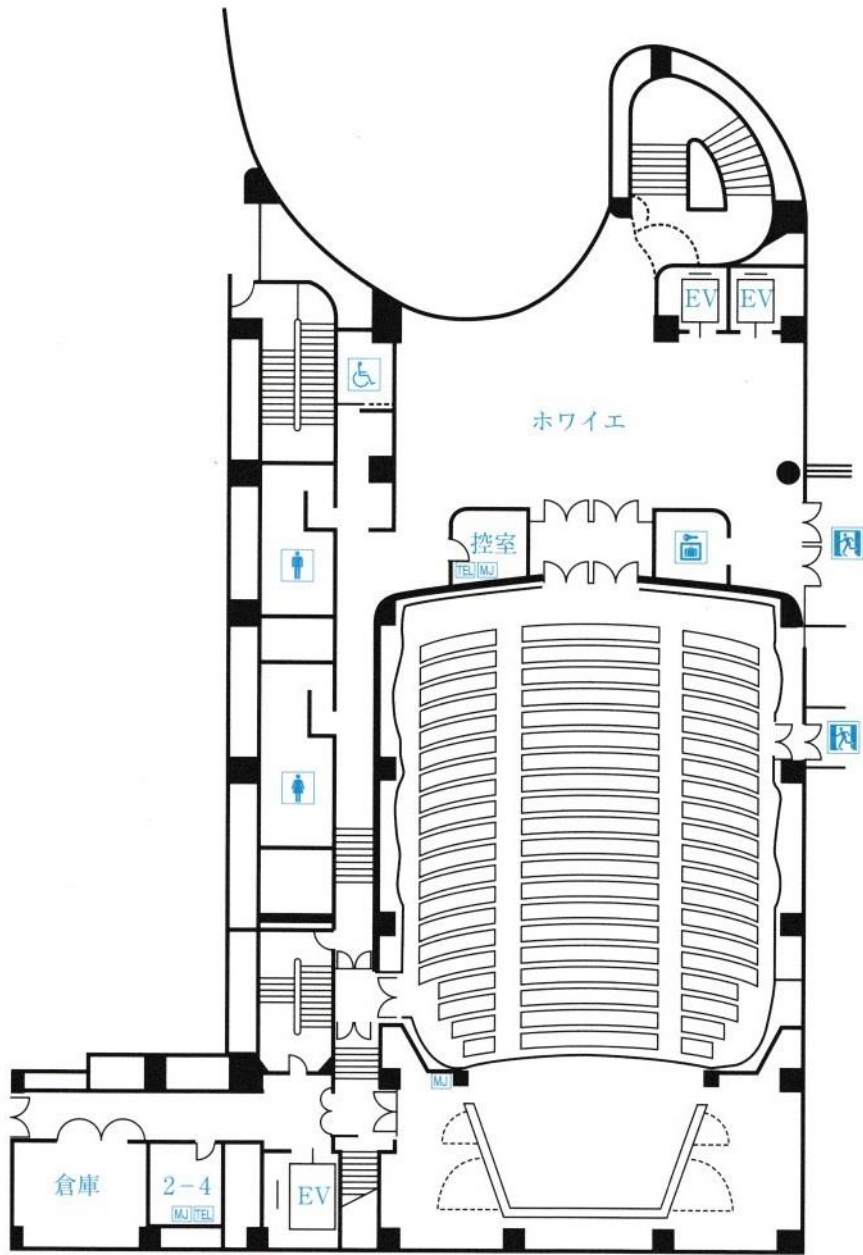
# 会場アクセス・会場案内図



## 埼玉県産業文化センター6階会議室 602号



# ソニックシティ 小ホール



2 F

開場は12時になります

## 共催企業一覧

旭化成メディカル株式会社

オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社

株式会社カイノス

協和発酵キリン株式会社

サノフィ株式会社

シスメックス株式会社

セルラー・ダイナミクス・インターナショナル・ジャパン株式会社

テルモBC T株式会社

一般社団法人 日本血液製剤機構

ノバルティス ファーマ株式会社

バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社

(五十音順)